

第五次新居浜市長期総合計画基本構想（案）・基本計画（案）に関する意見募集の結果について

平成22年10月29日
企画部 総合政策課

- 1 意見募集期間 平成22年8月30日（月）～9月24日（金）
- 2 意見提出人数 4人（個人4）
- 3 意見提出件数 4件（内、3件は同一内容）
- 4 意見の概要と意見に対する考え方

番号	提出された意見の概要	意見に対する考え方
1	<p>（フィールド5 教育文化）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施策5-4 学校教育の充実の中の学校図書館図書の実態については本の充実だけではなく、「図書館司書などの人的整備」についても計画・実施してほしい（男性2人・女性1人） 	<ul style="list-style-type: none"> ・本市では、平成20年度より市立図書館から学校図書館支援員を小中学校に派遣する事業を実施しており、学校図書館を楽しく使えるように図書の整理等の環境整備を行うとともに、本に親しんでもらうための読書支援や学習支援等を行っています。 この取組によりまして、学校図書館を利用する児童や生徒が増加するなどの効果が出ています。子どもが自ら学び、考える力、生きる力を身につけるために、今後とも、学校図書館の在り方について検討を行い、その機能と役割が十分に果たせるよう施設の充実と体制の整備に努めてまいります。 なお、基本計画5-4-4「教育施設・教育環境の整備充実」の主な取組内容「学校図書館図書の実態」については、「学校図書館の充実」へ変更いたします。
2	<p>（フィールド3 経済活力） （フィールド5 教育文化）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在、東平の近代化産業遺産が大変話題となっているが、世界的に見ても大変貴重な遺産をうまく活かしてきていないと感じる。 長期総合計画においても近代化産業遺産相互の連携や総合的な整備、機能分担、見に来た人にどのように見せるのか、地区別の棲み分けをどのようにするのかといった視点があまり感じられない。 市内にある遺産をうまく活かして、アピールする方法を打ち出して計画的に整備していかなければならないと思う。（女性1人） 	<ul style="list-style-type: none"> ・第五次長期総合計画では、「一あかがねのまち、笑顔輝く一産業・環境共生都市」を将来都市像（目指す姿）としています。この中の「あかがねのまち」は、本市発展の礎となった別子銅山の資源をいかし、先人の知恵と精神、尊い努力により、ものづくりの集積都市へと発展した新居浜の歴史を誇りとして再認識し、また、近代化産業遺産等をまちづくりに活用することにより、今まで以上にまちの魅力を生み出そうとするものです。 本市では、平成19年度に別子銅山文化遺産課を創設するなど、近代化産業遺産への一体的な取組に努めています。今後におきましても、所有企業グループとの協議を深めるとともに、世界に誇れる新居浜固有の資源として、施策5-8「近代化産業遺産の保存・活用の充実」に取り組み、また、基本計画1-3-1「JR新居浜駅周辺の公共施設整備」、同3-6-2「近代化産業遺産を活用した観光の振興」、同5-6-2「芸術文化施設の整備・充実」等と十分な連携を図り、総合的、一体的な取組を進めてまいります。